

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	育てる4 特色ある公園活用プロジェクト	主管課	みどり公園課	関係課	商工振興課
-------	---------------------	-----	--------	-----	-------

取り組みの方向		人を引き寄せる魅力ある公園づくり				
取り組みの展開						
内容	STEP1:光綾公園の整備・蟹ヶ谷公園の活用		STEP2:光綾公園・城山公園の活用		STEP3:光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園の活用	
	光綾公園における人を引き寄せる魅力ある公園づくりに向けた整備と、蟹ヶ谷公園における特長を生かした活用を進めます。		光綾公園における特長を生かした活用と、城山公園における人を引き寄せる魅力ある公園づくりを進めます。		光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園における特長を生かした活用と、人を引き寄せる仕組みづくりによる魅力の向上を図ります。	
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況
	光綾公園の特色を生かした魅力ある公園づくり	B	公園内カフェ、キッチンカー等の誘致	B		
			ばらで輝くまちあやせへの取り組み	B		
① 主管課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況	
	【1. 達成状況】 ・令和7年5月1日に光綾公園（北側園地）にある「あやせローズガーデン」を開園することができた。 ・光綾公園の南側再整備工事が7年度に完了し、同園全体の再整備が完了する見込み。 ・蟹ヶ谷公園については、平成27年度から令和2年度にかけて桜を植え、生育を促している。		【1. 達成状況】 ・イベントにおけるあやせフードトラック協会の6年度出店実績として、光綾公園で2件実績あり。（綾瀬スポーツ公園でも1件。） ・「あやせローズガーデン」を令和7年5月1日に開園し、7万人を超える方に来園していただいている。 ・城山公園については、老朽化した歴史に係る看板の修繕を7年度から実施予定。また、蛍が見られるわさび田の環境整備のため、樹木を伐採予定。		【1. 達成状況】	
	【2-1. 課題】 ・光綾公園の南側再整備工事において、労務単価や資材高騰などによる設計変更や関連工事間の調整を行っていく必要がある。		【2-1. 課題】 ・キッチンカー等について、イベント主催者に主体的に取り組んでもらうための理解や他の市内商業者への理解を得ることが課題となっている。 ・「あやせローズガーデン」について、引き続き多くの方に来園していただけるように周知を図る必要がある。		【2-1. 課題】	
	【2-2. 課題への対応】 ・影響を最小限に抑えられるように週間工程表などにより随時作業の進捗を把握し、適切な工事監理を行っていく。		【2-2. 課題への対応】 ・当該公園を利用する様々な事業に対し、キッチンカー等の導入を検討できるよう、導入実績の情報提供を行う。 ・ローズガーデンのパンフレットの配付等による周知を図っていく。		【2-2. 課題への対応】	
② 企画課による二次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況	
	・光綾公園の北側のローズガーデンについては、公園の管理手法等に変更が生じたが、今年5月に正式に開園することができ、着実に整備を進めている。 ・光綾公園の南側については、再整備によって、より子どもが利用しやすい、子育てのしやすい環境となることが期待される。工事費用の高騰についても必要な調整を行い、令和7年秋以降の全面供用開始に向け、引き続き、事業を進めていただきたい。		・公園を利用するイベントの主催者に向けて、キッチンカーについての情報提供を行い、導入に向けた支援をしていただきたい。 ・光綾公園については、今後はキッチンカー等を含む飲食や休憩ができる場所づくりの施策についても積極的に検討を進めていただきたい。			
③ 外部評価	STEP1～3の進捗状況（評価： B ）					
	【評価コメント】 ・現状と進捗そのものについては特に問題指摘はないため、B評価とする。 【要望・意見】 ・来場者に市内で消費してもらう工夫については大きな課題が残されているという問題意識で対応をお願いしたい。 ・ローズガーデンは維持管理費もかかるので、バラの咲く時期のみ入園料を設定、またはイベントの参加料、駐車場の有料化、売店やカフェの設置などを検討してはどうか。 ・ローズガーデンで今後も安定した集客につなげる取組や、バラの時期以外にも公園を活用できる方法を検討していただきたい。					

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	育てる4 特色ある公園活用プロジェクト		主管課	みどり公園課		関係課	商工振興課	
-------	---------------------	--	-----	--------	--	-----	-------	--

取り組みの方向		それぞれの長を生かした公園づくり					
取り組みの展開							
内容	STEP1:モデル地区の整備		STEP2:他地区への整備の展開		STEP3:活用の展開		
	モデル地区として綾南地域の公園において、地域のニーズと長を生かした公園づくりを進めます。		モデル地区以外の公園において、地域のニーズと長を生かした公園づくりを進めます。		コミュニティの形成に向けた、さまざまな交流機会、イベント等による公園の利活用を進めます。		
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	
① 主管課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況		STEP3の進捗状況		
	【1. 達成状況】 ・綾南地域における8年度からの工事実施に向け、地域との調整を7年度に実施する予定。		【1. 達成状況】		【1. 達成状況】		
	【2-1. 課題】 ・地域の自治会を対象としたワークショップを行うなど事業を進めていたが、コロナ禍により地域との調整が困難になってしまったため、改めて調整する必要がある。		【2-1. 課題】		【2-1. 課題】		
	【2-2. 課題への対応】 ・自治会との調整などにより、事業を進めている。		【2-2. 課題への対応】		【2-2. 課題への対応】		
② 企画課による二次評価	STEP1の進捗状況	C	STEP2の進捗状況		STEP3の進捗状況		
	・地域住民との調整については、コロナ禍の影響を受けて予定通りに進まなかった面もあったが、今後は令和8年度からの工事に向け取組を進めていただきたい。						
③ 外部評価	STEP1～3の進捗状況 (評価: C)						
	【評価コメント】 ・現状の進捗としては、まだ地域との調整が十分図られていないことから、評価はCとする。 【要望・意見】 ・特徴を生かした公園づくりを実施するためには当然費用もかかるが、その費用を市外から持ってくる工夫については大きな課題が残っている。						

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	育てる5 目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト	主管課	生涯学習課	関係課	道路管理課・みどり公園課・商工振興課
-------	--------------------------	-----	-------	-----	--------------------

取り組みの方向		地域住民が誇ることのできる郷土づくり				
取り組みの展開						
内容	STEP1:地域における意識の醸成		STEP2:支援体制・仕組みづくり		STEP3:歴史・文化を生かしたまちづくり	
	歴史文化資源の価値や魅力を住民自らが再認識し、地域への誇りと愛郷心の醸成を図るため地域組織・団体の実状把握及び支援をします。		地域の歴史文化資源の保全・活用に関わる地域組織・団体への支援体制と他の地域資源を結ぶ仕組みづくりへの支援をします。		地域や歴史文化ゾーンの支援者による歴史文化を生かした自主的なまちづくりへの支援をします。	
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況
	あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想の推進	A	あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想の推進	A		
① 主管課による一次評価	STEP1の進捗状況	A	STEP2の進捗状況	A	STEP3の進捗状況	
	【1. 達成状況】 ・地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体の実情把握のため、アンケートや協議を行い「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想推進協議会」を設立し、地域住民・団体・学校・アドバイザーなどの情報共有と連携の場づくりを実現し、意識の醸成を図った。		【1. 達成状況】 ・綾瀬西高校との学園祭、写真展、職場体験、生涯学習都市宣言30周年記念事業などの連携により、歴史文化ゾーン構想及び宮久保遺跡の周知と協力体制づくりなど、本構想エリアに立地する高等学校との支援・連携に係る仕組みづくりができた。また、高校側としても、行政と連携した各種の事業実施は、生徒はもちろん、教員にとっても非常に有意義な学びの機会となった、との報告があった。		【1. 達成状況】	
	【2-1. 課題】 ・イベントの情報発信方法と集客力の向上		【2-1. 課題】 ・高校との連携については、教員の人事異動や、生徒の入れ替わりなどが生じるため、安定的な事業継続性の確保に課題がある。		【2-1. 課題】	
	【2-2. 課題への対応】 ・行政ができる周知方法（広報あやせ、HP、チラシなど）での誘客には一定の限界があると感じており、委員それぞれが情報発信者となって、周知活動を行うこととした。		【2-2. 課題への対応】 ・年度替わりなど、人事異動の際には引き継ぎや情報交換の場を設ける。		【2-2. 課題への対応】	
② 企画課による二次評価	STEP1の進捗状況	A	STEP2の進捗状況	A	STEP3の進捗状況	
	地域の歴史文化に関わる地域組織・団体の実情把握に努め、協議会を設立し、関係者との連携の場づくりを行うことができている。		目久尻川歴史文化ゾーン構想のエリア内に位置する高校との協力体制づくりや連携事業が行われ、地域組織・団体との連携・仕組みづくりが進められている。 また、令和6年度には市民提案事業として市内の石造物調査が実施され、市民の主体的な参加が行われている。			
③ 外部評価	STEP1～3の進捗状況（評価： A ）					
	【評価コメント】 ・事業の進捗はA評価とする。今後は環境整備、情報発信の方法、若い世代との関わりの拡大等にもさらに取り組んでいただきたい。また、本プロジェクトと他の戦略プロジェクトとの連携や、目久尻川歴史文化ゾーン構想や愛郷心の醸成を進める一方で地域経済への効果をどのように結び付けていくかという視点も持ちながら、事業を進めていただきたい。 【要望・意見】 ・他市から転入して、綾瀬の歴史を知らない人も多い。市内にも市外にも伝わる発信方法を考えていただきたい。 ・綾瀬西高校の他にも市民活動に協力的な高校があるので、他の3校にもアプローチしてみてもどうか。学校を越えた交流が生まれ、愛郷心の醸成につながるのではないかと。 ・愛郷心の醸成は数値化が難しいので目的が達成されたかどうかをどのように図るか。 ・社会教育の分野の事業は、常に批判的な視点を持って改善を続けないと停滞しがちだ。本プロジェクトはそうならないようにしていただきたい。					

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	育てる5 目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト	主管課	生涯学習課	関係課	道路管理課・みどり公園課・商工振興課
-------	--------------------------	-----	-------	-----	--------------------

取り組みの方向		あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの整備・展開				
取り組みの展開						
内 容	STEP1:ハード整備の検討		STEP2:ハード整備の実施		STEP3:魅力ある交流空間の創出	
	あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの形成に向けた歴史文化ゾーンの形成に向けた歴史文化とふれあえる環境づくり及び公園、サイクリングロード等の整備内容の検討を進めます。		あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの形成に向けた歴史文化とふれあえる環境づくり及び公園、サイクリングロード等の整備を進めます。		飲食等の機会の創出や商店等との連携等、人を引き寄せる魅力あるスポットに向けた次のステージの魅力づくりを進めます。	
関 連 実 施 計 画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況
	あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想の推進	A	あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想の推進	A		
① 主 管 課 による 一 次 評 価	STEP1の進捗状況	A	STEP2の進捗状況	A	STEP3の進捗状況	
	【1. 達成状況】 ・神奈川県厚木土木事務所東部センターの目久尻川流域護岸整備事業やサイクリング道路整備事業をはじめ、本市の文化財看板設置計画などのスケジュールの情報共有を行い、ハード面における計画的な事業実施に向けた調整を行うことができた。		【1. 達成状況】 ・文化財説明板等7カ所、誘導表示9カ所をサイクリングロードに設置し、ハード面での環境整備を行った。また、不要となった住居表示街区案内板を誘導表示として転用し、既存設備の有効活用を行った。		【1. 達成状況】	
	【2-1. 課題】 ・さまざまな所管部署があるため、事業調整が多岐にわたる。		【2-1. 課題】 ・整備した説明板の適切な維持管理と継続的・発展的な来訪者の獲得が課題。		【2-1. 課題】	
	【2-2. 課題への対応】 ・協議機会を設け、事業目的の共有と相互理解を深めた。		【2-2. 課題への対応】 ・整備した説明版の定期的な点検や関係者からの意見に基づく内容の見直し等を行い、綾瀬市の歴史文化の魅力を一層広めていく。		【2-2. 課題への対応】	
② 企 画 課 による 二 次 評 価	STEP1の進捗状況	A	STEP2の進捗状況	A	STEP3の進捗状況	
	サイクリングロードへの文化財看板の設置について関係各所と調整を行い、歴史文化と触れ合える環境づくりを進めることができている。		当初の目標どおり文化財説明板を設置しており、歴史的資源の価値や魅力が伝わりやすくなるよう整備を進めている。 今後は、設置した説明版なども活用しながら綾瀬の歴史文化をより多くの人に伝えられるよう取り組みの工夫をするとともに、あやせ目久尻川歴史文化ゾーン全体におけるハード整備の方向性やステップ3の「魅力ある交流空間の創出」に向けた協議を関係各所と連携して進めること。			
③ 外 部 評 価	STEP1～3の進捗状況（評価： A ）					
	【評価コメント】 ・事業の進捗はA評価とする。今後は環境整備、情報発信の方法、若い世代との関わりの拡大等にもさらに取り組んでいただきたい。また、本プロジェクトと他の戦略プロジェクトとの連携や、目久尻川歴史文化ゾーン構想や愛郷心の醸成を進める一方で地域経済への効果をどのように結び付けていくかという視点も持ちながら、事業を進めていただきたい。 【要望・意見】 ・史跡や文化財周辺の環境整備についても取り組む必要がある。 ・他市から転入して、綾瀬の歴史を知らない人も多い。市内にも市外にも伝わる発信方法を考えていただきたい。					

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	稼ぐ5 中心市街地魅力UP リニューアルプロジェクト		主管課	中心市街地振興課	関係課	公共施設マネジメント推進課
取り組みの方向 中心市街地への魅力ある商業施設の誘致						
取り組みの展開						
内容	STEP1: 魅力ある中心市街地づくり①		STEP2: 魅力ある中心市街地づくり②		STEP3: 魅力ある中心市街地づくり③	
	消防本部庁舎跡地への商業施設の誘致と商業施設の特色を生かした中心市街地の活性化の仕組みづくりを進めます。		市民文化センターエリアへの商業施設と公共施設が融合する施設整備に向け、中心市街地の活性化の仕組みづくりを進めます。		公共施設が融合する、市の特色を生かした商業施設を誘致し、中心市街地の活性化を図ります。	
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況
	綾瀬市中心市街地の活性化	A				
① 主管課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況	
	【1. 達成状況】 ・旧タウンヒルズエリア、消防本部庁舎跡地に新たな商業施設として、民間との協業により「マーケットプレイス綾瀬」の誘致が完了。令和7年3月に先行施設として「ヤオコー」「ユニクロ」が順次オープン。今後も継続して令和9年度中のグランドオープンに向け、関係各機関と調整を行っていく。		【1. 達成状況】 ・令和3年度に実施したサウンディング調査において、商業施設と公共施設の整備は個別に行うとの方針となったため、市民文化センターエリアは単独での再整備等を検討する方針を決定した。		【1. 達成状況】	
	【2-1. 課題】 ・市のイベント実施や事業の広報活動の場として協力をいただいている状況ではあるが、更なる中心市街地の活性化に向け、商工会をはじめとした関係機関との連携を図っていく必要がある。		【2-1. 課題】 ・建築資材の高騰により、施設の建替えについては多額の費用が必要となる。また、一方で、既存施設の改修についても、バリアフリー対応等をはじめ、長寿命化改修工事に多額の費用がかかることが想定されるが、既存施設の老朽度が把握できていない。		【2-1. 課題】	
	【2-2. 課題への対応】 ・マーケットプレイス出店企業と、行政、商工会などが、中心市街地の活性化に向け、連携を図るため協議の場を設ける。		【2-2. 課題への対応】 ・民間の資金やノウハウを活用し、市民文化センターエリアの整備を行うことができるか、図書館基本構想及びサウンディング調査の結果等を踏まえ、建替えや改修について総合的に判断し、方針を決定する。		【2-2. 課題への対応】	
② 企画課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況	
	旧タウンヒルズエリア、消防本部庁舎跡地に、商業施設の誘致が決まり、その中でヤオコーとユニクロが先行オープンをしており、その他のエリアも順次工事が進められている。 引き続き、商業施設のグランドオープンに向けて関係者との調整を進めていただきたい。		建築費の高騰をはじめ、総合計画策定時から社会環境に大きな変化が起きていることを踏まえ、今後の中心市街地の方向について検討を進めていただきたい。			
③ 外部評価	STEP1～3の進捗状況 （評価： B ）					
	【評価コメント】 ・進捗に関する評価としては主管課及び企画課の認識に異論はなく、B評価とする。					
外部評価	【要望・意見】 ・書店や喫茶店、飲食店など他市に普通にあるものが綾瀬市にも必要とされている。市民が望んでいる施設や機能があってほしい。 ・室内で未就学児も含めた子どもが遊ぶことができ、子どもを見守りながら保護者同士が交流や相談できる施設があるといい。 ・必要な公共施設と病院やショッピング施設と一緒にあると皆が集まりやすいと思う。					

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	稼ぐ5 中心市街地魅力UP リニューアルプロジェクト			主管課	中心市街地振興課		関係課	公共施設マネジメント推進課	
取り組みの方向 中心市街地の利便性の向上									
取り組みの展開									
内容	STEP1:公共施設の活用に向けた検討			STEP2:連携の仕組みづくり			STEP3:利便性の向上		
	中心市街地のリニューアルに伴う公共施設の再編・商業施設との連携手法の検討を進めます。			中心市街地のさらなる利便性、魅力の向上に向けた公共施設と商業施設連携の仕組みづくりを進めます。			回遊性向上の仕組みづくりや交流の場の創出等による、中心市街地の利便性向上を図ります。		
関連実施計画	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況
① 主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		C	STEP2の進捗状況		B	STEP3の進捗状況		B
	【1. 達成状況】 ・リニューアルが進む商業施設エリアに加え、文化センターエリアでは、老朽化する施設の再整備を含めた公有地活用等について、サウンディング調査を実施する。			【1. 達成状況】 ・地域との連携を目的とし、ヤオコーでの地場産野菜の販売や、ユニクロオープン時の市内企業とのコラボ商品の開発など、中心市街地の魅力向上に繋げることが出来た。			【1. 達成状況】		
	【2-1. 課題】 ・公共施設の再編の方向性を定める必要がある。 ・建物の老朽度を把握する必要がある。			【2-1. 課題】 ・公共施設でのイベント実施時に、商業施設の運営に影響を及ぼす可能性がある。 ・市民文化センターは指定管理者制度を導入しており、商業施設との連携が難しい。			【2-1. 課題】		
	【2-2. 課題への対応】 ・民間資金を活用した再整備が可能かどうかなど、サウンディング調査の結果を踏まえ、最も効果的な方法を検討する。			【2-2. 課題への対応】 ・イベントが商業施設の運営にプラスに働くような対策を、関係各機関と連携をとり検討する。 ・併せて、指定管理者、商業施設との連携を市が仲介し、推進することで賑わいの創造をする。			【2-2. 課題への対応】		
② 企画課による二次評価	STEP1の進捗状況		C	STEP2の進捗状況		B	STEP3の進捗状況		
	建築費の高騰をはじめ、総合計画策定時から社会環境に大きな変化が起きているが、今後の中心市街地の方向について検討を進めるため、サウンディング調査等の取り組みをすすめていただきたい。			先行オープンした商業施設とは、地場産野菜の販売や市内企業とのコラボなど連携の取り組みが行われた。引き続き、商業施設、指定管理者、市の3者で連携しにぎわいに繋がることのできるよう取り組みを進めていただきたい。					
③ 外部評価	STEP1～3の進捗状況（評価：C）								
	【評価コメント】 ・進捗に関する評価としては主管課及び企画課の認識に異論はなく、C評価とする。								
	【要望・意見】 ・“中心”や“豊かさ”について綾瀬市なりの意味合いをもう少し議論したほうがいい。 ・いろいろな立場の市民がともに憩い、ふれあうような空間について、自然空間としては蟹ヶ谷公園や城山公園があるが、施設空間としては現状の市街地空間の中にはない。綾瀬市の規模に応じた、いろいろな人々が集い、憩い、ふれあうことができる施設空間があっていいのではないかと。委員から出た意見をもう一度よく考えていただき、今後の魅力ある中心市街地づくりの在り方を考えていっていただきたい。								

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略 PJ名	支える5 次世代につなげる 公共施設改革プロジェクト	主管課	公共施設マネジメント推進課	関係課	危機管理課、障がい福祉課、 市民活動推進課、生涯学習 課、教育総務課
-----------	-------------------------------	-----	---------------	-----	--

取り組みの方向		基本方針に基づく公共施設の再編と質の向上								
取り組みの展開										
内容	STEP1:第1期アクションプラン中期		STEP2:第1期アクションプラン後期		STEP3:第2期アクションプラン前期					
	第1期対象施設の再整備・工事を進め、「縮充」の考え方のもと、公共施設の質・利便性の向上を図ります。		第1期対象施設の再整備・工事の完了と、施設の有効活用に向けた仕組みづくりを進めます。		第2期対象施設の再整備・工事を進め、「縮充」の考え方のもと、公共施設の質・利便性の向上を図ります。					
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況				
	早川地区公共施設再編事業	A	蓼川地区公共施設再編事業	A						
	吉岡地区公共施設再編事業	A	もみの木園建替え事業	A						
	寺尾綾北地区公共施設再編事業	A								
	市立図書館の再整備	A								
① 主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況		A	STEP3の進捗状況			
	【1. 達成状況】 ・地域施設の再編については、基本方針の「縮充」の考えに基づき、早川地区、吉岡地区、寺尾綾北地区において、自治会館と地区センターを複合化した再編施設の建設事業を順次進めている。 ・市役所周辺公共施設の再編については、市民文化センターの構成施設の一つである図書館について、目指すべき図書館像を示す「図書館基本構想」を令和6年度に策定した。 ・障がい福祉施設の再編については、ばらの里において、施設民営化に向けた公募の手続きを開始した。 ・学校施設については、適正配置などの検討を行い、綾瀬市立小学校及び中学校の通学区域等(適正規模・適正配置)に関する基本方針を策定した。				【1. 達成状況】 ・蓼川地区の複合施設は、令和7年度末の供用開始に向け工事を進めるほか、運営について、利用料金の検討や複合化する自治会等との施設の運営面の仕組みづくりの検討を進めている。 ・もみの木園新園舎は機能を追加し、令和7年度の竣工に向けて再整備工事を進めるとともに、運営について、指定管理者制度の導入に向けた事業者の選定等を進めている。 ・市域施設の市役所周辺公共施設の再編のうち、旧保健医療センターは、施設の有効活用に向けた取り組みとして、県の児童相談所を誘致することが決定し、児童相談所移転工事に関する協定を締結し、令和7年10月の開所に向けて工事を進めている。市役所については、長寿命化を推進するために施設の改修工事を実施している。					
	【2-1. 課題】 ・物価上昇に伴い建設費が高騰しており、試算と乖離が生じているため、改めて検討が必要。 ・図書館の整備手法の検討が必要。 ・図書館以外の市民文化センター構成施設の今後の対応方針の決定が必要。 ・学校施設は、第1期の5年の間で、すでに児童生徒数の予測との乖離が生じている。				【2-1. 課題】					
	【2-2. 課題への対応】 ・第2期アクションプランの策定においては、施設の長寿命化や学校との複合化も視野に入れ検討を進めていく。 ・令和7年度実施予定の「中心市街地の活性化に向けたサウンディング調査」において、基本構想に基づく図書館の再整備や市民文化センターの対応方針について民間の提案を吸い上げ、再整備手法の整理等を行うことで、令和8年度以降の「図書館整備基本計画」の策定及び市民文化センターの対応方針の決定へとつなげる。 ・第2期アクションプラン策定において再度、児童生徒数の推計を行い再整備の検討を実施する。				【2-2. 課題への対応】					

総合計画進行管理シート

② 企画課 による 二次評価	STEP1の進捗状況	A	STEP2の進捗状況	A	STEP3の進捗状況
	早川地区等の地域の公共施設再編は各地区において順次建設事業が進められている。建設費の高騰、児童生徒数の変化など、試算と乖離してきているもの、市民文化センターの今後の方針など、課題は多くあるが、関係各所と調整しながら取組を進めていただきたい。		蓼川地区公共施設再編事業、もみの木園建替え事業ともに、工事を進めながら、施設運営に関する調整も行われており、順調に進められている。 今後は、ステップ1、ステップ2で挙げられている課題の対応に取り組むとともに、第2期アクションプランの策定に向けて検討を進めていただきたい。		
③ 外部 評価	STEP1～3の進捗状況（評価： B ）				
	【評価コメント】 ・事業の進捗としてはB評価とするが、建設費の高騰による試算との乖離や図書館の整備手法の検討、市民文化センターの対応方針の検討など、根本的な課題がまだ残っている。環境の変化を踏まえた再検討には力を入れて取り組んでいただきたい。 【要望・意見】 ・根拠となる数字のデータに対して具体的なイメージを持てるよう工夫するなど、市民への分かりやすいプレゼンテーションについて、今後の行政は従来以上に留意する必要がある。				

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	支える5 次世代につなげる 公共施設改革プロジェクト			主管課	公共施設マネジメント推進課	関係課	危機管理課、障がい福祉課、市民活動推進課、生涯学習課、教育総務課		
取り組みの方向		公共施設マネジメントの促進							
取り組みの展開									
内容	STEP1: 第1期アクションプランの推進			STEP2: 第2期アクションプランの策定		STEP2: 第2期アクションプランの推進			
	第1期アクションプランの進行管理と予防保全指針、資産管理システムによる適切な施設管理体制の整備を進めます。			第2期アクションプランの策定を進めるとともに、予防保全指針と資産管理システムによる適切な運用推進と定着を図ります。		基本方針の考え方に基づく第2期アクションプランの進行管理を行います。			
関連実施計画	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況
	公共施設再編の推進		A						
① 主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		A	STEP2の進捗状況		B	STEP3の進捗状況		
	【1. 達成状況】 ・第1期アクションプランはほぼ順調に進行している。施設所管課では予防保全指針に基づき施設点検を実施し、資産管理システムへ入力した施設データを、予算査定時に活用するほか、施設カルテをとりまとめホームページに掲載し、施設情報を共有することにより適切な管理、効率化を図った。 ・令和2年から積み立てを行っている公共施設総合管理基金については目標額を超える約38億円の積立を行った。			【1. 達成状況】 ・第1期対象施設の整備を進める中で、建築費の高騰が課題となっているため、建築単価を見直し学校施設の再編などとの整合性を図り、より現実的な計画となるよう第2期アクションプランの策定を進めている。 ・予防保全指針、資産管理システムについては、引き続き適切な運用、さらなる情報の蓄積を進めていく。			【1. 達成状況】		
	【2-1. 課題】 ・物価上昇に伴い建設費が高騰しており、今後、大規模改修や施設更新の実施により多額の費用負担が想定される。 ・施設の老朽化が進んでおり、予想外の破損や故障が発生している。			【2-1. 課題】 ・物価上昇に伴う建設費が高騰しており、施設更新に伴う多額の費用負担に対する再編の手法、費用の捻出方法が課題となっている。			【2-1. 課題】		
	【2-2. 課題への対応】 ・目標を超える積立額は達成しているが、建築費の高騰を踏まえ、引き続き基金への積み立てを行っていく。 ・日常点検の実施により、事故等を未然に防ぐとともに、予防保全の計画を見据えた中で、予防保全と事後保全とのバランスを考え修繕工事の対応をしていく。			【2-2. 課題への対応】 ・PPP、PFI等、民間活力活用の可能性も視野に入れ施設整備を進めていく。 ・地域施設・市域施設・学校施設を一体的にとらえ、学校施設との複合化も視野に入れ、より効率的な施設運営を検討していく。			【2-2. 課題への対応】		
② 企画課による二次評価	STEP1の進捗状況		A	STEP2の進捗状況		B	STEP3の進捗状況		
	第1期アクションプランは地域施設の再編など順調に進められている。 基金の運用についても、当初予定を上回る積立を行っている。建設費高騰を踏まえ、引き続き必要とされる規模の基金の積立を行っていただきたい。			物価高騰や人手不足等の厳しい状況ではあるが、学校施設、地域施設、市域施設の複合化などの検討を進め、第2期アクションプランの策定について調整を進めていただきたい。					
③ 外部評価	STEP1～3の進捗状況（評価： B ）								
	【評価コメント】 ・事業の進捗としてはB評価とするが、建設費の高騰による試算との乖離や図書館の整備手法の検討、市民文化センターの対応方針の検討など、根本的な課題がまだ残っている。環境の変化を踏まえた再検討には力を入れて取り組んでいただきたい。 【要望・意見】 ・学校施設が「縮充」に向かうことは理解するが、普通級は減少していても支援級やサポートルームなど多様な学びの場が必要であること、災害時の避難所として十分な機能を残すことを考慮していただきたい。								

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)